



新庁舎建設事業について、検討状況や進捗状況について詳しくお伝えするために「新庁舎建設だより」を原則として毎月発行し、町ホームページ等とあわせて、最新の情報を皆さんにお知らせしていきます。第1号ではこれまでの経過と今後の進め方についてお知らせします。

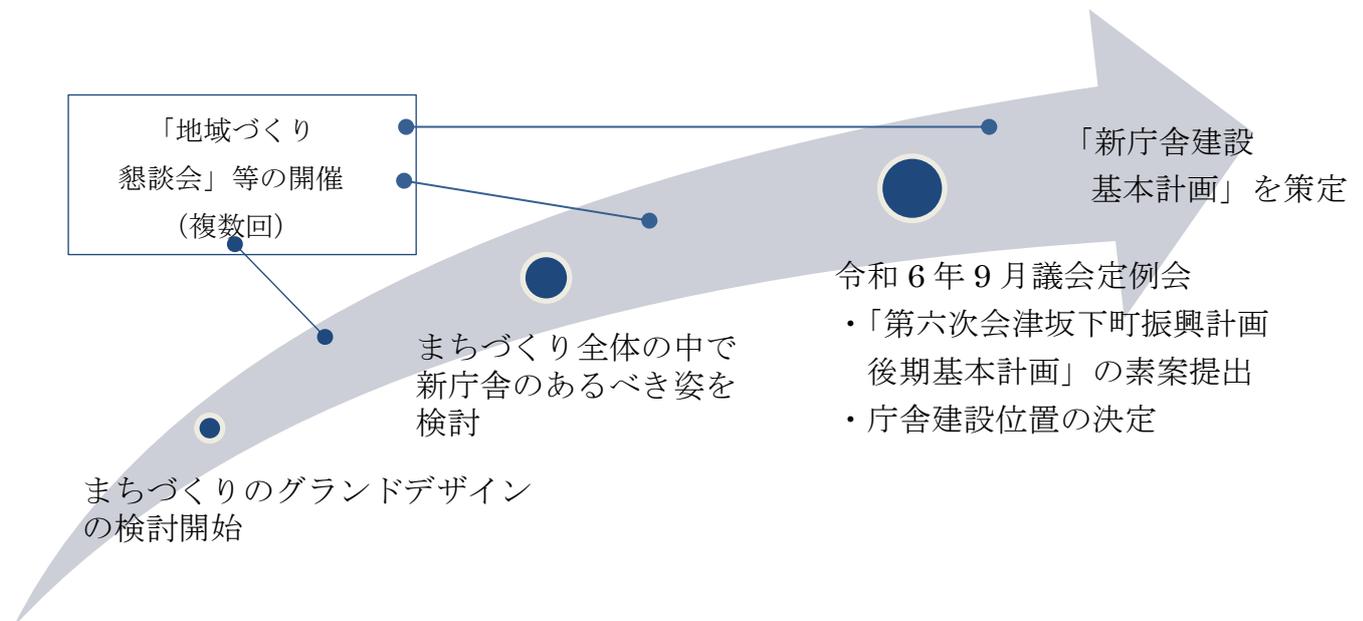
◆ これまで

新庁舎建設場所は、平成30年に「現役場庁舎周辺とする」ことで議決されました。令和4年に町議会より、様々な現状を加味し再度協議することを求める意見書が提出されたため、町では再度検討を進め、令和5年2月22日の議会全員協議会で「旧坂下厚生総合病院跡地」としたい旨を表明しました。令和5年5月23日から26日に開催した各地区地域づくり懇談会にて町の考えを提案したところ、町民の皆様からは庁舎建設の位置やその役割について、賛否両論様々なご意見をいただきました。

◆ 建設場所について

各種団体や地域との懇談会を通して、皆様が望む将来の町の姿やそれに伴う行政機能等、今後目指すべきまちづくりの姿について、町民の皆様との議論がまだまだ足りず、今一度皆様と共に考えていくことと致しました。

庁舎建設は施設を整備するというだけでなく、防災拠点の確保、市街地の形成など将来のまちづくりにおいて重要な事業です。そのため今後策定を始める、まちづくりの最上位計画である「第六次会津坂下町振興計画後期基本計画」におけるまちづくりのランドデザイン（全体構想）を考える中で庁舎機能がどこにあるべきかを町民の皆様と一緒に検討し、町長が責任を持って判断してまいります。



裏面には町の方針を掲載しましたのでご覧ください。また、各地区地域づくり懇談会の資料や会議録は町のホームページに掲載しておりますので、そちらもあわせてご覧ください。



◀会津坂下町 HP 内

地域づくり懇談会について（新庁舎建設）

「あたらしいまちづくり元年」の実現に向けて

過日行われた地域づくり懇談会等において、町民の皆様と懇談を行い、多くのご意見を頂戴いたしました。新庁舎建設場所についての町の考えを提案いたしました。将来のまちの姿や町民の声を反映させるしくみ、まちづくりにおける協働の姿など、町民の皆様との議論がまだまだ足りないとの思いに至り、過去の議決を尊重した上で、新庁舎建設場所を「現庁舎周辺を含めた中で再考すること」とした時点に立ち戻り、改めて検討することといたしました。

今後につきましては、町民の方々に参画して頂く、「10年後・20年後の会津坂下町を考える会(仮)」での中心市街地の賑わい創出についての検討や、都市マスタープランの議論も開始し、第六次会津坂下町振興計画後期基本計画において描かれる「将来の会津坂下町」のグランドデザインの中で、庁舎の在り方について明らかにしてまいります。

町民の皆様と議会、そして町が一体となって描く「あたらしいまちづくり」により、町民の想いを反映し、やりたい事があふれ、将来にわたり住み続けたいまちを実現してまいります。

会津坂下町長 古川庄平